

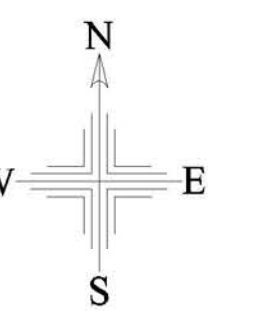
地域の危険度マップ (神岡地区北部)

● 大地震は、いつどこで発生しても不思議ではありません！

阪神・淡路大震災(平成7年1月)では、10万棟を超える住家が全壊し、6,400人を超える死者を出す大惨事となりましたが、このうちの80%相当(約5,000人)は木造住宅などの倒壊によるものでした。
最近では、過去に大きな地震が起きていない地域においても大地震が発生し、大きな被害に見舞われています。
こうした地震から生命・財産を守るために、建築物の耐震化を進めましょう。

- ◆ 全国の各地で地震が発生しています。
- ◆ 地震による死因の多くが、建築物の倒壊によるものです。
- ◆ 地震から生命・財産を守るためには、建築物の耐震化が効果的です。

1000 0 1000 2000 3000m



凡 例

地域内の建物の中で全壊する建物の割合		
■	危険度7	30 ~ %
■	危険度6	20 ~ 30 %
■	危険度5	10 ~ 20 %
■	危険度4	7 ~ 10 %
■	危険度3	5 ~ 7 %
■	危険度2	3 ~ 5 %
■	危険度1	~ 3 %